

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【公表番号】特表2017-513188(P2017-513188A)

【公表日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-557932(P2016-557932)

【国際特許分類】

H 0 1 J 65/04 (2006.01)

H 0 1 J 65/00 (2006.01)

H 0 1 J 9/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 65/04 Z

H 0 1 J 65/00 Z

H 0 1 J 9/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

別の実施形態において、コレクタ素子 1 0 5 は、プラズマ 1 0 6 から放出された広帯域照明 1 1 5 (例えば、V U V 放射、D U V 放射、E U V 放射、U V 放射および / または可視放射) を集め、広帯域照明を 1 つ以上の追加の光学素子 (例えば、フィルタ 1 2 3、ホモジナイザ 1 2 5 など) に向けるように配置される。例えば、コレクタ素子 1 0 5 は、プラズマ 1 0 6 によって放出された V U V 広帯域放射、D U V 放射、E U V 放射、U V 放射または可視放射のうちの少なくとも 1 つを集め、広帯域照明 1 1 5 を 1 つ以上の下流の光学素子に向けることができる。これに関し、プラズマセル 1 0 1 は、V U V 放射、D U V 放射、E U V 放射、U V 放射および / または可視放射を、限定されないが、検査ツールまたは計測ツールなどの当技術で公知の任意の光学特徴付けシステムの下流の光学素子に送達することができる。本明細書において、システム 1 0 0 のプラズマセル 1 0 1 は、限定されないが、V U V 放射、D U V 放射、E U V 放射、U V 放射、および / または可視放射を含む様々なスペクトル域において有用な放射を放出できることに留意する。